

とぴあ topia

? 毎日のギモン紙面相談室



マンモグラフィと乳腺超音波(エコー)検査は  
どちらを受けた方が良いですか?

併用が勧められています。

乳がん検診での画像検査と言えば、マンモグラフィと乳腺超音波(エコー)が用いられるのが一般的です。それぞれの検査には特徴があり、より正確な診断を行うためにはどちらか一方...ということではなく、併用する検診が勧められています。

	マンモグラフィ	乳腺超音波
利点	<ul style="list-style-type: none"> <li>石灰化や乳腺の全体像をとらえやすい</li> <li>検診受診の継続によって、乳がん死亡率が低下することが統計学的に証明されている</li> <li>撮影方法が定められており、過去の画像と比較しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射線の被ばくがない</li> <li>妊娠中でも施行可能</li> <li>乳腺が発達している人や若年者(40歳以下)で、痛みなく検査ができる</li> <li>しこりの質的診断をしやすい</li> </ul>
欠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>痛みを伴うことがある※1</li> <li>年齢・乳腺量の個人差により、詳細な診断ができないことがある</li> <li>妊娠中やその疑いがある時は検査不可能※2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>石灰化の評価がしづらい</li> <li>がん以外の良性的の所見も見つかりやすく、再検査となる可能性が高くなる</li> <li>施行者の技量に依存する</li> <li>検診での有効性の確認が未だ確立されていない(厚生労働省指定研究が進行中)</li> </ul>

※1 マンモグラフィに伴う疼痛は個人差があります。また月経周期の時期でも多少は異なります(排卵後から月経直前では乳房がしばしば硬くなるため、痛みも増す可能性があります)。月経のある方の乳がん検診はできれば月経開始5日~7日ぐらいの頃に受けていただくほうがお勧めです。この時期であれば妊娠の可能性も低く放射線検査も心配ありません。

※2 X線検査のため多少は放射線被ばくがありますが、乳房の局所的なものです。また1回に被ばくする放射線量はごく微量であり、全身に影響したり、骨髄抑制や白血病、発がん等の可能性はまずないと考えてください。

まず、40歳以上の乳がん検診は基本的にマンモグラフィとなりますが、ご自身の年齢、乳腺の状態、家族歴などに応じて超音波を追加すると良いでしょう。乳がん検診の受診をご希望の方や、悩まれている方は、お気軽にご相談ください。

健康増進センター(人間ドック) ☎059-365-0411



とぴあ先生

豊富な経験と知識をもち、仲間や患者さんから信頼される、富田浜病院に勤める医師の理想像。

皆さんからの質問に、  
とぴあ先生がお答えします!

お願い

富田浜病院グループでは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、皆さまをお迎えしております。来院、ご利用の際は、ご協力よろしくお願いたします。

医療法人 富田浜病院

〒510-8008 三重県四日市市富田浜町26-14

お気軽にお問い合わせください

tel 059-365-0023

富田浜病院

検索

HPIはこちら



ご本人とご家族のために、  
訪問看護で不安を解消することで  
ご自宅での暮らしを支えたい。

看護師としてこれまで、手術室や外来、病棟において、多くの患者さんと長年にわたり関わってきました。子どもが小さいときに仕事を離れたこともありましたが、新卒で入職した富田浜病院へ2007年に戻って以来、訪問看護師として働いています。利用者さんと接するうえで気をつけているのは、人生の先輩として尊重すること。在宅介護というのは、住み慣れた家で暮らしたいというご本人の思いと、そうさせてあげたいというご家族の思いがあって成り立つものです。訪問看護はご自宅にお邪魔す

るものですから、まずは利用者さんの考えをお聞きしたり感じたりします。そのうえで、より良い状態をめざし、負担が少ないように維持、改善していくことを大切にしています。また、ご家族さんの負担や不安を出来る限り和らげたいとも思っています。入院前とは異なるご本人の状態が、ご家族だけではわからず不安を抱えるケースもありますし、気を張りながらケアをされていても、最初はうまくいかないこともあり、だんだんと疲れが出てきます。だからこそ私たち訪問看護師は、ご家族とも積極的に関わるよう心がけています。10年以上、同じご家庭に訪問させていただくこともあります。利用者さんとそのご家族は、私の人生にとっても大切な存在です。これからも多くの利用者さんやご家族に寄り添い続けたいと思います。



訪問看護 浜っこステーション  
看護師  
長谷川 敬子





部署紹介



訪問看護 浜っこステーション

看護サービスやリハビリテーションの提供によって、利用者さんの命と生活を守ることが役割です。

介護保険や医療保険を活用した、看護師による訪問看護サービスを提供しています。病棟や外来などでの勤務経験もある看護師が所属しており、認知症などの専門的な知識と技術を持っています。訪問介護とは異なり

医療的ケアも含め、医師やケアマネジャー、リハビリスタッフとチームとなって、利用者さんの価値観や尊厳を尊重し、その方、その場面に合わせ必要な支援を行っています。

訪問看護で行っていることの例

- ① 症状の観察 ② 家族への介護指導 ③ 身体の清潔 ④ 食事栄養の支援、指導
- ⑤ 排泄の支援 ⑥ 生活範囲拡大などのリハビリ ⑦ 医療処置(点滴など)
- ⑧ 医療機器の管理、指導 ⑨ 褥瘡予防や処置、創傷処置 ⑩ 服薬管理指導
- ⑪ ターミナルケア ⑫ 利用者および介護者への精神的サポート等



利用者さんの情報をスタッフで共有  
 主担当の看護師だけでなく、複数人が入れ替わりながら訪問しています。一人では気づけないことも、異なる目線を持つ看護師が関わることで、より良い方法で支援できると考えているからです。

医療的ケアに対応できる機器を準備  
 訪問看護においては、看護師が利用者さんの症状を診ます。生活サポートが中心の介護ではなく、健康状態を含めてケアすることが訪問看護の役割であり、看護師も研修を受けるなどしてスキルアップを図っています。



365日24時間体制の支援サービス  
 浜っこステーションでは、24時間365日、いつでも連絡いただいても緊急対応できる体制を整えています。訪問先をステーションから一定距離にご自宅がある方に限らせていただいているのはそのためです。

利用者さん、ご家族の皆さんへ

私たちは看護サービスを提供しますが、利用者さんの状態に合わせて、ケアマネジャーさんと相談して介護サービスにシフトさせるよう改善を目指すなど、利用者さんやご家族さんのご要望もお聞きしています。また、言葉を発するのが難しい方に好きな歌手がいたらマイクを持って発声してもらったり、一緒に桜を見に外出することで運動量を増やしたりと、いろいろなアイデアを取り入れながらサービスを提供しています。ご家族とも積極的にお話します。どうしたら良いのかわからないなど、不安なことは何でもご相談ください。

スター制度のご紹介

「スター制度」認定者インタビュー

富田浜病院グループでは、医療・介護業務以外の場面でも、技術やノウハウの習得や、それを通じた社会貢献活動に努めています。「スター制度」は、その活動が顕著であった職員がノミネートされるグループ内の評価制度。活躍に応じて「★」～「★★★★★」の段階があり、職員のネームプレートに掲載しています。



脳卒中患者さんのリハビリテーション方法を院内で共有し、患者さんの力になりたい。

脳梗塞や脳出血といった脳卒中のなかで、病態の理解が難しいといわれる部位である視床の出血について、様々な研修や勉強会に参加。そこで得た知識を新人のセラピスト(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)向けにまとめ、リハビリテーションに役立てるために院内で勉強会を開催しています。「医療人にとって無知は罪である」という言葉があります。私たちが知っているかいないかで、患者さんの人生に大きな影響があります。できる限りのことをしたいと考え、学びを現場に還元し、知識を経験に変える姿勢を忘れずに、患者さんのお力になりたいと思っています。

富田浜病院 リハビリテーション課  
 理学療法士  
 津山 維吹



高次脳機能障害の症状を把握しやすくして、本人や家族、スタッフの不安や混乱を解消したい。

私は言語聴覚士として患者さんのリハビリに関わっている高次脳機能障害の知識をつけるために研修に参加。認知関連行動アセスメント(CBA)という、日常生活から高次脳機能障害を理解するための評価方法について学び、グループ内の言語聴覚士を中心としたリハビリテーション課スタッフを対象とした勉強会を開催しています。高次脳機能障害は他者からはわかりにくく、患者さん、その家族、対応する医療スタッフの不安や混乱を招くことが課題とされています。患者さんの症状を文章による説明だけでなく、数値評価として出すことで把握しやすくすることを目指しています。

富田浜病院 リハビリテーション課  
 言語聴覚士  
 西坂 歩美

